

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
保健	必修	1	2	普通科

科目の概要	・生涯を通じた健康や体育・スポーツの基礎として、それらを多様な視点からとらえられる行動が身につけることができる。 ・保健体育の学びが将来の生活のために役立つだけでなく、ともに生きる人々の健康づくりや体育・スポーツ活動にも生かしていけることを身につけることができる。
-------	---

教材名	教科書	現代高等学校保健体育（大修館保体 7 0 1）
	副教材	現代高等保健体育ノート改訂版（大修館保体 7 0 1）

担当者	今野、谷口、高野
-----	----------

学習到達目標	・生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性を理解できるようにする。 ・社会生活における健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の健康、労働と健康について理解できるようにする。
--------	--

学習方法	・保健では、授業を通して保健の見方・考え方を働かせながら、健康についての自他や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図っていく能力を身につけていくことを目標とする。
------	---

評価基準と評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	学習内容の要約、レポート	行動の観察 学習内容の要約、レポート	行動の観察 保健ノート
	A	・各単元における個人及び社会生活における健康・安全についての知識が定着し、理解が深まっている。	・健康課題について、科学的に分析したり、自他や社会の課題を発見したり、整理したり、応用したり、評価し、筋道を立てて説明したりできている。	・保健ノート等に授業で知り得た内容を記載し、自己の体験や、資料、他者との対話などから意見を十分に表すことができる。
	B	・各単元における個人及び社会生活における健康・安全についての知識が概ね定着している。	・健康課題の解決に向けて、適切な方法を選択したり、説明したりしている。	・保健ノート等に授業で知り得た内容を記載し、自己の体験や、資料、他者との対話などから意見を表すことができる。
	C	・各単元における個人及び社会生活における健康・安全についての知識の定着が不十分である。	・健康課題の解決に向けた、気づきや説明が不十分である。	・保健ノート等の記載や取り組み、対話が不十分である。

年 間 学 習 計 画

期	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
前期	3. 生涯を通じる健康	・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、下記の事項を身につけることができる。		
	1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	ア 生涯を通じる健康について理解を深めること。 (1)生涯の各段階における健康 (2)労働と健康 イ 生涯を通じる健康に関する情報から、課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	2 2 2 2 2 2 1 2 1 1	学習内容の要約、レポート
	4. 健康を支える環境づくり	・健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、下記の事項を身につけることができる。		
	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	ア 健康を支える環境づくりについて理解を深めること。 (1)環境と健康 (2)食品と健康 (3)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (4)様々な保健活動や社会的対策 (5)健康に関する環境づくりと社会参加 イ 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。	2 2 2 2 2 2 1 1 2 1 1	調べ学習（グループ） プレゼンテーション 自己・相互評価